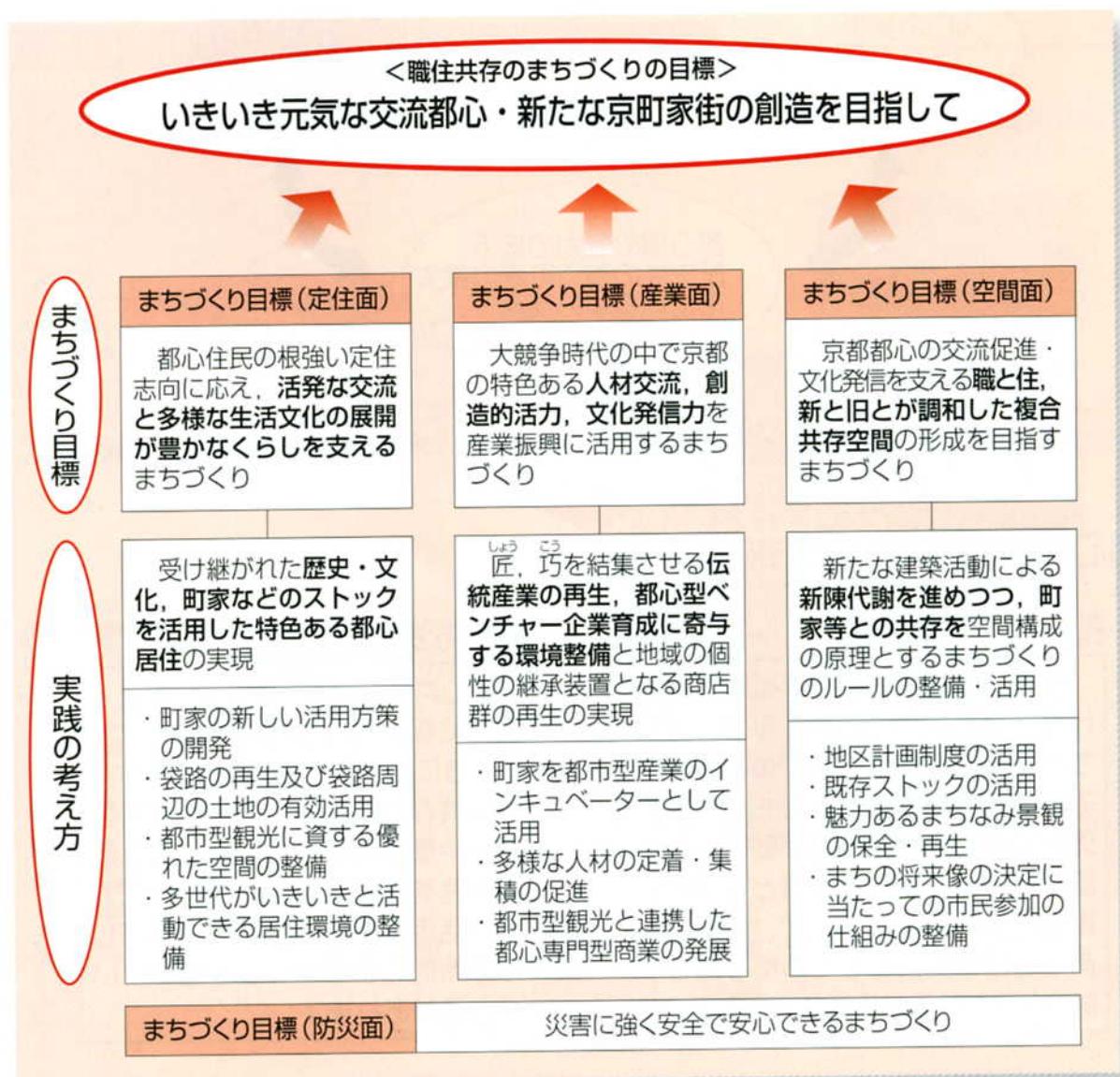


# 5 職住共存のまちづくりの目標と実践

職住共存地区で起こっている定住面・産業面・空間面における課題発生と、これらが相互に影響し合う悪循環を断ち切り、京都の特徴ある都心再生を進めていくためには、我が国有数の歴史・文化ストックを最大限に活かしていくことが必要と考えられます。

そこで、職住共存のまちづくりの目標を「いきいき元気な交流都心・新たな京町家街の創造を目指して」とし、定住面、産業面、空間面、防災面の各視点からまちづくりを進めていくこととします。

職住共存地区がこうしたまちづくり目標を実現していくためには、人々のくらしと地区の個性を維持するため、町家などをはじめとする個性的な既存ストックをできる限り利用しつつ、新たな建築活動についても、既存ストックとの共存を誘導していく必要があります。こうした、空間を形成することにより、人々のいきいきとした交流、地域の文化発信力及びこれを基礎にした創造的活力が保たれ、豊かさの実感できる定住環境、特色あるビジネス環境の維持・向上が図られると考えられます。



# に向けての考え方

## 職住共存地区の目標像（定住面・産業面・空間面）

### 【定住】

- ◇「住み続ける」ことがくらしの価値を創造
  - ・人間性豊かなくらし
  - ・活発な多世代間の交流
  - ・多様な生活文化の充実



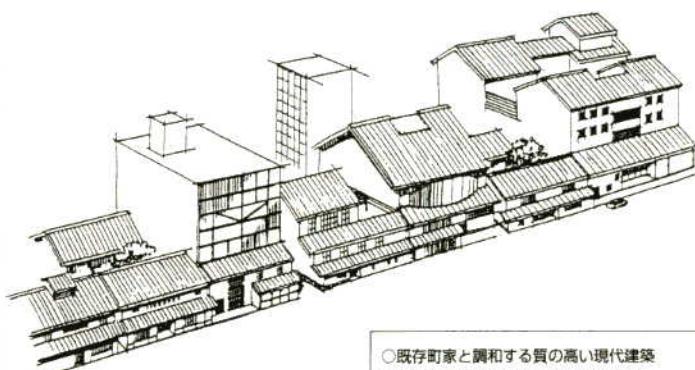
### 【産業】

- ◇産業活動の基盤として役立つ都心の特性の維持活用
  - ・人材の蓄積、豊かな交流機会、創造的活力、文化発信力など
  - ・ソフトな産業基盤の維持活用



### 【空間】

- ◇京都型職住共存複合空間の形成
  - ・新旧、職住の共存する感性豊かな都市空間
  - ・いきいきとした交流空間



- 既存町家と調和する質の高い現代建築
- 快適で魅力的な住宅・住環境の確保
- 活力ある人材の確保と京都の魅力の情報発信
- 持続的で良質な開発投資の誘導

